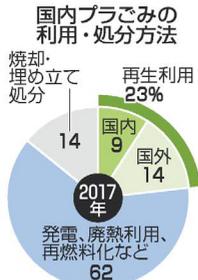


プラごみ再利用 海外任せ



※プラスチック循環利用協会の資料に基づく、四捨五入のため合計は100%にならない

日本のプラスチックごみは2017年に全体の23%が再生利用されたが、このうち国内処理は4割程度にとどまり、多くを低コストの途上国に任せてきたのが現状だ。バーゼル条約改正により汚れたプラごみの輸出が規制されることを受け、国は高性能設備の導入など国内リサイクル業界の効率化や、プラスチックの使用量抑制を進めることが課題となる。

効率化や使用抑制が課題

プラスチック循環利用協会によると、国内で17年に排出されたペットボトルやトレイなどのプラごみは903万ト。パレットなどの樹脂製品として23%を国内外で再生利用したほか、国内での発電や廃熱利用、再燃料などが62%、焼却・埋め立て処分が14%だった。再生利用では、回収したプラごみは選別や洗浄などの工程を経る。手作業に頼る部分も多く、人件費の高い国内で処理できる量は限られる。

一方、国外での処理には、洗浄用の薬品による環境汚染も指摘されてきた。このため最大の引受先だった中国は18年から輸入禁止に転じ、東南アジア諸国も規制を強めている。日本がノルウェーと共同で改正案を提出、採択にこぎ着けたことに対し、環境省幹部は「プラごみ輸出に歯止めをかける取り組みをリードできた」と成果を強調するが、関係業界からは「輸出減少は世界的な流れ。条約改正は現状追認にすぎない」との声も漏れる。環境政策に詳しい大阪商業大の原田禎夫准教授（公共経済学）は「政府は使い捨てプラスチックの使用禁止など踏み込んだ排出削減策と、代替素材への転換策を展開すべきだ」と訴えた。

問題

- ①国内で2017年に排出されたプラごみは何トンですか？ 記事から探してみましょう。
- ②そのうち再生利用されたプラごみは何%ですか？
- ③プラごみを再生利用するためには、どんな課題がありますか？ 国内と国外に分けて、記事の中から抜き出してみましょう。
- ④プラごみを減らすためにはどうしたらいいでしょうか？ 考えてみましょう。

(小学5年～高校生／社会科、総合学習の時間など)

出題者から

国連が掲げる17項目の「持続可能な開発目標(SDGs)」のうち、「12 つくる責任 つかう責任」と「14 海の豊かさを守ろう」から出題しました。マイクロプラスチックの問題や海外へ輸出されたプラごみが日本に送り返されるといった報道も相次いでいます。身の回りの生活をもう一度振り返ってみるきっかけになるといいです。(仙台市長町中教諭 進藤千枝)

7月7日こども新聞7面かほくワークシート回答

- ① 国内で2017年に排出されたプラごみは何トンですか？記事から探して見ましょう。

答え 903万トン

- ② そのうち再利用されたプラごみは何%ですか？

答え 23%

- ③ プラごみを再利用するためにはどんな課題がありますか？国内と国外に分けて記事の中から抜き出してみましょう。

国内・・・回収したプラごみの選別や洗浄などで手作業に頼ることも多く人件費の高い国内で処理できる量は限られていること

国外・・・洗浄用の薬品による環境汚染

- ④ プラごみを減らすにはどうしたらいいでしょうか？考えてみましょう。

答え

レジ袋の削減 マイバック持参する

ペットボトルやプラスチックストローなどをできる限り使わないようにするなど